

# 小学校 算数 平均の意味

児童質問紙に見られる本県の状況

「算数の時間で問題を解くときに、なぜこの式に表したのかという理由を考える」

60.1 / 64.0 (兵庫県 / 全国) (%)

理由を考えて  
いるのは6割

課題が見られた問題 < B活用 2 (1) > (数量関係：記述式)

【問題】平均を求める式の意味を書く。(小算B-4)

(1) 実験1では、ふりこの長さを50cm、おもりの重さを40gにして、ふりが10往復する時間を6回測定し、下の表にまとめました。

実験1の結果

実験回数(回目)	1	2	3	4	5	6
10往復する時間(秒)	14	15	14	13	15	16

ゆきこさんは、上の表をもとに、次の2つの式で1往復する時間の平均を求めました。

ゆきこさんの求め方

- ①  $(14 + 15 + 14 + 13 + 15 + 16) \div 6 = 14.5$  (秒)
- ②  $14.5 \div 10 = 1.45$  (秒) …… 1往復する時間の平均

①の14.5(秒)は、何を求めていますか。答えを書きましょう。

【解答の状況】(兵庫県 / 全国)

正答率 52.0 / 51.7 無解答率 3.1 / 3.4

正答「10往復する時間の平均」

< 誤答例 >

「10往復する時間」 14.8 / 12.9

「1往復する時間の平均」 11.2 / 12.7

【要因分析】

誤答例 : 表の言葉から選んだのではないか。

誤答例 : 何往復する時間の平均かをよく考えずに回答したのではないか。

【課題】

平成24年度の問題

下の表は、月曜日から金曜日までの5日間に、畑でとれたトマトの数を調べたものです。

この5日間では、1日に平均何個のトマトがとれたことになりましたか。答えを書きましょう。

畑でとれたトマトの数

曜日	月	火	水	木	金
トマトの数(個)	6	3	2	0	9

上記の問題の正答率は87%であった。平均の求め方は分かっているが、今回のように式がどういう意味なのかを判断することに課題が見られる。

## 授業改善の取組

### 式の意味を考える

答えが合っているかどうかを確認するだけでなく、なぜ、このような式になるのかを話し合うなど、式の意味を考えさせることが大切である。

### 式から読み取ったことを表す

文章問題を扱う際に、式と文や表がどのようにつながっているのかを考えさせる活動や、式から文章問題をつくる活動を行う等、式から読み取ったことを表現させる活動を取り入れることが大切である。

### 「考え合わせ」

「答え合わせ」の授業から「考え合わせ」の授業で児童への尋ね方を変える。  
「どうやって考えましたか」  
「この式ってどういう意味」

### 見つける授業

公式やきまりを「教える」から「見つけようとする授業」に変える。  
・単元の導入時に  
・話し合い活動の中で  
・算数用語を使用して

例えば...